

# 校区の子どもたちの学力向上に向けて

～学校・家庭・地域が連携した取組～

【宇部市 西岐波中学校区】

## 地域の概要

西岐波中学校区は、宇部市の東方に位置し、西岐波小学校区と常盤小学校区からなっています。風光明媚な瀬戸内海に面する丘陵地帯に展開する地区で、かつては純農・漁村地域として素朴な気風に満ちていましたが、近年は住宅団地が造成され、都市近郊地区としての性格がみられる教育環境に変化しています。

人口	21,968人	
世帯数	9,840世帯	
対象校及び児童生徒数	西岐波中学校	511人
	西岐波小学校	628人
	常盤小学校	452人

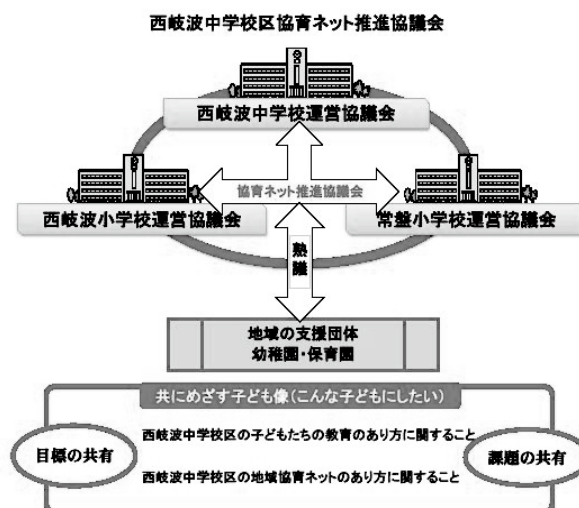
※ 常盤小学校の約7割の児童が、西岐波中学校に入学します。

## 組織の内容

西岐波中学校区では、各小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとして活動しています。また、年1回、3校合同学校運営協議会を開き、熟議を行っています。今年度のテーマは「西岐波中学校区の子どもたちの共にめざす子ども像」でした。

また、今年度、三つの学校運営協議会が連携して「西岐波中学校区地域協育ネット（KIWAネット）推進協議会」を立ち上げました。推進協議会委員は、各校の学校運営協議会会長と委員代表1名、校長、PTA会長、校区幼稚園・保育所の園長の計15名で組織されています。

今年度中に「西岐波中学校区の子どもたちの共にめざす子ども像」のキャッチフレーズを決め、西岐波、常盤それぞれのコミュニティ推進協議会等地域支援団体との連携をさらに強めた活動を行っていきたいと考えています。



## 特色・重点的な取組

西岐波中学校区は平成26年度・27年度、文部科学省の「課題解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業」の研究指定を受け、「学校・家庭・地域が連携した学力向上」に取り組んできました。

本中学校区の児童生徒の課題は、「学習内容の確実な定着と低学力層の児童生徒への学習支援」、「家庭学習時間の確立」、「読書の推進」の3点です。これらの課題を解決するために、「授業の改善と充実」「生活・学習習慣の改善」をめざし、9年間を見通した継続的な取組を、家庭・地域と連携して進めてきました。

また、今年度は各学校の取組以外に、KIWAネット推進協議会主催で、生活習慣の見直しに向けたメディア講演会「スマホ社会の子どもたち～知っててください！現実と対応」も開催し、保護者、学校運営協議会委員、地域住民等、多くの参加を得ました。

## 主な活動の紹介

各小・中学校の学力向上に向けた特色ある取組を紹介します。

### 【読書活動の推進】

西岐波小学校では、保護者や地域の方による読み聞かせ「もここの会」が毎週月曜日の朝学の時間を利用して実施されています。読み聞かせで取り上げられた本は、学校図書館等支援員が学校図書館内に展示し、他のクラスで読まれた本も閲覧や貸し出しができるようになっています。また、出版社の「全国訪問キャラバンカー」を招へいし、低学年にブックトーク等を実施してもらい、様々な本を紹介していただきました。



全国訪問キャラバンカー

### 【土曜日補充学習の実施】

常盤小学校では、補充学習の取組として、毎週土曜日の午前中に「ときわっ子寺子屋」を常盤ふれあいセンターで実施しています。毎回30～50名の子どもたちが参加し、週末課題プリントや漢字、計算ドリル等の問題集を持参して学習しています。学習の見守り支援には、PTA役員、PTAのOG・OBの会の方々、ボランティアの大学生、山口県教育会宇部支部の方々に協力していただいています。



ときわっ子寺子屋

### 【地域の方による授業評価及び研究協議への参加】

西岐波中学校では、保護者や地域の方に授業評価をお願いしています。特に学校運営協議会委員の方には、公開授業研究会の研究協議にも参加していただき、教員とは異なる視点からの貴重な御意見をいただいています。

「宇部授業の日」の研究協議では、委員の方から「自己主張ができる子どもを育ててほしい。」「子どもたちの振り返りをもっと取り上げてほしい。」などの意見がありました。



地域の人を交えた研究協議

## 成果と課題

本中学校区は、地域の方が学校にとっても協力的なところで、授業補助、環境整備、見守り隊の活動等様々な場面で、多くの方が学校と関わってくださっています。また、子どもたちも地域行事に参加したり、ボランティア清掃を行ったりすることで、地域との結び付きを深めています。

2年間にわたって取り組んできた「学力向上」については、学校だけでなく、家庭や地域の意識も高まってきましたが、家庭での学習習慣の確立や、メディアコントロール等の課題へは、今後も小中が連携し、継続して取り組まなければならないと考えています。

## 今後の取組

今後はKIWAネットとしての活動を活発化していきたいと考えています。小中の連携をさらに強め、生活習慣の確立等については幼稚園・保育所とも一緒に15年間を見通して考えていくことが必要です。

学校・家庭・地域が、子どもたちに付けたい力を共に考え、そのためにできることに共に取り組んでいく体制づくりを進めていきたいと思えます。



KIWAネット  
きわりん